

先輩、ウチ、ほんまに嬉しいです。雨降りの夏、後輩と過ごしたあの日の夜。

（ ■ 「お久しぶりです、先輩」 ）

【美由紀】

…あ、先輩。その、こんばんは。…美由紀、です
…え、えっと、お久しぶり…ですね

うう…ごめんなさい、先輩のお顔を見るの、ほんとに久々で…
緊張、しちゃってるんですね
上手く言葉が、出てなくて…

え、そ、そうですね。前みたいに、落ち着いて…すう、はあ…

…あの、先輩。今日、「一緒に夏祭りに行けて、本当に、嬉しいです
もしかしたら、もう先輩とは会えないのになって、

ずっと、後ろ向きなことばかり考えてて…

でも、ちようどお祭りの日が近かったから…思い切って、連絡…しちゃいました
とは言っても、私って迷ってばかりで…結局、数日前になってしまっ…
迷惑じゃ、ありませんでしたか？

…えへへ、良かった…です

実は、この日のために…あ、いえ、そろそろ、行きましょうか
えと…あの頃みたいに、先輩の隣に…失礼、しますね

【美由紀】

こうして並んで歩いていると、先輩が、学生だった頃を思い出しますね
駅前で待ち合わせをして、一緒に、登下校して…懐かしい、ですね

私は…今、一人で学校に行って…

本当に…あの時が、夢のようで…え、浴衣、ですか？

は、はい。見せるの…初めて、ですよ

せっかく、なので。今日のために、思い切って新調したんです
淡い桃色の生地に、柔らかな花が咲いていて…

こんなに可愛いものの、似合わないって思ったんですけど…

に、似合っているん、ですか？ ……ありがとうございます

その…浴衣を着る機会なんて、滅多になくて…それに、先輩に褒められたから…
今の私、浮かれちゃってます

この日が来るの、本当に楽しみにしていて…あ、会場に着いたら、何、しますか？

私…？ ええと…まずは、たこ焼きの屋台とか、どうでしょう？

外側はカリッとしているのに、中は熱々トロトロ…ソースの香りと、
青のりの風味が食欲を…

あ、あとは綿菓子とか。ふわふわで、舌の上で甘く溶けるのが良いんですよね
定番ですけど、いかにもお祭りって感じがして…私は、好きです

…あ、ご、ごめんなさい

何だか、一人で話してしまつて…浮かれすぎ、ですよ

先輩も、同じ…なんですか？

そ、それって…ある意味、両思い、ですよ

あ、いえっ、何でも、ないです。それより、早く行きましょう
お祭りは待ってくれませんよ、なんて…

ひゃっ。なにか…冷たいものが顔に…

もしかして、雨？ 天気予報じゃ、そんなこと一言も…

でも、まだこのくらいなら、全然…

…大丈夫じゃ、なさそうですね

今日は…先輩との大切な日、だったのに…

あ、こんなところに立っていたら、濡れちゃいますよね

ええと…どこか、雨宿りできる場所は…

先輩の、お部屋？ そんな、急に…

ひゃ…手、握られて…

あったかい…です

ありがとうございます、先輩…

（ ■ ♪ 二人っきりの雨宿り ）

【美由紀】

先輩の…男の人の、お部屋…

お邪魔、しますね

わあ…先輩のお部屋、初めて入りました

綺麗に、お掃除されているんですね。…でも私、少し濡れちゃって…

あ、タオル？ 良いんですか？

ありがとうございます。では、失礼して髪を…

ん、んう…

…髪の長さ、ですか？

そ、そうですね…前は、肩より少し長いくらいの、セミロングだったんですけど…

少し、ショートっぽく、してみたんです

おかげで、髪…すぐに乾いて…

あはは…変、ですよ。クラスで、ショートにするのが流行っていて

先輩も、ショートの方が、お好きでしたよね？

知っての通り、私、あんまり明るい性格じゃなくて…だから、まずは形だけでもって…

思っただんですけど…

そんな、可愛いだなんて…うう、褒めてくれたの、先輩が初めて…です

お世辞だって分かっているのに…勘違い、しますよ

え、…短い、似合って…っ、もう。それ以上褒めるの、禁止、です

さっきから、顔が熱くなって…きっと、耳まで真っ赤…かも

先輩は…その、全然、変わっていませんね

あの頃と、同じで……か、かっこいい、ままです

い、いい今のなしでお願いしますっ。仕返し…ですから

先輩にも、恥ずかしくなってもらおうって…思っただんですけど

失敗…でしたね。私の方が、照れちゃいました

うう…あの、立ちっぱなしなのも疲れますし、座りませんか？

はい、では…また先輩の隣に

【美由紀】

あれ…？ さっきよりも、距離、近く…いい、いえ、何でも…ないです
また少し…雨、強くなってきましたね

…こんなこと言っても、仕方ないんですけど…やっぱり、残念です

今日みたいな日に、たまたま、先輩の都合も良かったなんて…滅多にないのに

…先輩も、おんなじ風に、思っているんですね

私、嬉しいです

…ん、先輩…

……え？ の、飲み物？ あ、はい。そ、それじゃあ頂きます

…では、いつもの…じゃなかった。オレンジジュース、ありますか？

ふふ、じゃあ、それでお願います

はあ…良い雰囲気だったのに…。先輩も、照れてるのかな？ そうだと、良いんだけど…

【美由紀】

あ、ありがとうございます。いただきます

ん…んく…、はあ…このオレンジジュース、甘酸っぱくて、懐かしい味がします

駅のホームで、ベンチに並んで座って……これを飲みながら、電車を待っていましたよね

先輩が卒業して、一人で登下校するようになってからは、あんまり飲まなくなったので…

ほんと、懐かしいです…

まるで、あの頃に、戻ったみたいで…いつも隣には、先輩がいて…ん、んう…はあ…

…先輩が先に卒業しちゃって、最近、毎日が寂しいんです。先輩と会おう前に戻っただけ

なのに…

…私っ、先輩とまた—

……す、すごい音ですね。お腹…減っているんですか？

朝から、何も？ ど、どうして…

お祭りの屋台で…って、張り切りすぎですよお

それまで、何か少しでも口に入れておかないと、身体に悪—

きやつ！？ 先輩！ どうしました？ だ、大丈夫……じゃ、ないですよ

どうしよう……。何か、悪い病気だったり…？

ええと、救急車…っ、119で…

え？ 空腹と、仕事の疲れで…そ、そうなんですか

けど…どうしてそんなに…

もしかして、今日…休むため…？

まさか先輩、今日のために、無理したんじゃないですか？

だとしたら、私…。ごめんなさい

もっと早くお誘いのメールを出していれば…。

いえ、そもそもお祭りに誘うなんてこと、しなければ…

あ…そう、でしたよね。先輩も、私と同じ気持ちで…

あの、先輩。とりあえず、ジュースを飲んで、少し横になりましょう

あ…！ でもそれは、私…の…

うう、な、何でもない、です

それ…私の飲みかけ…なのに。はう…

い、いえいえっ、別に嫌とかでは全然なくて、恥かしくて…

む、むしろ…うう

せ、先輩…。あの、そろそろ横になった方が…

ああ…でも、床に寝たら、頭が痛くなっちゃいますよね

私のことは良いので、どうぞ、お布団の方に…

…先輩？ 私ともっと、話したいって…

確かに…久しぶりに会いましたし、私も、もっと先輩と…や、やっぱりダメですよ
体調優先、です。ちゃんとお布団で寝た方が…

ふえっ、私の膝枕なんて…い、いえっ、恥ずかしいですけど…嫌じゃ、ないですよ
先輩さえ、よろしければ…そのう、ふ、不束者ですが…って、違うのかな

落ち着けるかは分かりませんけど…お膝の上に、お耳をくっ付けちゃってください
そう…です。お身体をごろんって倒して、右耳を、私の太ももに…んう

【美由紀】

…どう、でしょうか。その…寝心地、とか…

柔らかくて、温かいんですね。…私、先輩の、枕になれちゃいました。えへへ

…このまま少し、お休みしましょう

…先輩、少し目を閉じてください。今の先輩はお疲れ気味なんですから、
しっかり休まないと

そう…静かに目を瞑って…真っ暗に、なりましたか？

…でも、私の温もりと、この小さな声は…聞こえていますよね
大丈夫ですよ…今日は私、先輩の側にいますから

そんな…迷惑だなんて、思ってません

今日はちよっと、ふらっただけで済みましたけど。

もしかしたら、本当に病気になっちゃうかもしれないですよ

先輩、辛い時は、はっきりそう言ってくださいね

そうしたら私、お世話しに来ますから

それぐらいしか、出来ること、ないので…

…ありがとう、って…。いえ、このぐらい…お互いさまです

ほら、昔、私が先輩に助けてもらった時のこと、憶えていますか？

…私と先輩が、初めて出会った日のこと

部活動が終わって家に帰ろうとした時、私ったら、足をくじいて、歩けなくなっちゃって

…しかも、そんな日に限って、今日みたいに雨が降ってきたんです

どうしよう、どうしようって、泣きそうになっちゃった…大丈夫？　って、

雨だけじゃなくて、優しい声が降ってきて。先輩が、手を伸ばしてくれました

差していた傘を仕舞って、自分も濡れちゃうのに、立てない私を

おんぶしてくれましたよね

あの日からずっと、考えていたことがあるんです

いつか絶対、お返しをしようって。先輩が困ってる時には、今度は私が手を伸ばそうって

…だから。私に、あの日のお返しをさせてください

お疲れ気味の先輩のために、一生懸命、お世話…したいんです

（ ■ うちの料理…美味しいですか ）

【美由紀】

どうですか、先輩
横になって…体調、少し良くなりましたか？

でしたら、軽めのごはん、作りますよ

ちょっとでも、何かお腹に入れておかないと、また倒れちゃうと思いますし
食材は…冷蔵庫のものを使うことになりますけど…大丈夫、ですか？

ああ、あんまり中に入っていないなくても、ごはんとお腹があれば大丈夫です
凝った料理はできませんけど…おにぎりと、卵焼きが作れますよ

本当に、手軽なものになりますけど…きっと、お腹は喜んでくれると思います

あ…先輩も、喜んでくれるんですか？ ふふ、でしたら、嬉しいです

すぐ作ってきますので、先輩はここに…え、作ってるところ、見たいんですか？

…分かりました。確かに、お料理してるところを見るの、何だか楽しいですよ
作っている途中で、味を想像したり…

その気持ち、私も分かります

先輩が良いのなら、一緒に台所へ行きましょうか

…先輩？ このまま膝枕していたら、ごはん…作れませんか？

そんなに、私の膝枕を気に入っていただけたのなら…食後に、また、しますよ

ふふ、はい。じゃあ、立ち上がりましょうね

【美由紀】

さっきみたいに、ふらついたりは、していませんね

それでは、さっそく台所の方、お借りします

ええと、こっち…で合ってますよね

冷蔵庫の中身は…うん、卵もありますし、お米は…ラップに掛かっているのがありますね
なるほど…昨日の余りですか

一人暮らしたと、つい多く炊いて、余らしてしまった…あ、凶星ですか？ ふふ
これをレンジに入れて…

温めている間に、準備、しますね

どんな料理を作るにしても、まずは清潔第一です

隅々まで、しっかり手を洗って…ん、しょ…
ごしごし、ごしごし…

特に、おにぎりは素手で握るので、念入りに…
指の間も、ごしごし…ごしごし…と

しっかり洗ったところで、レンジを止めて…

…温かくなったごはんを握っていくんですけど、その前に…
指の先に塩をつけて、手のひら全体に擦り込んでいきますね
こうすることで、おにぎり全体に、ちょうど良い塩味が広がるんですよ
それに、殺菌効果もあるので、一石二鳥…ですかね

よし…それではお米を、ん…
手のひらに載せてから、具材の鮭フレークを混ぜて…

にぎにぎ、にぎにぎ…にぎにぎ
おにぎりって、手軽に作れて美味しいので、良いですよ
私なんか、ほとんど毎日、学校に持って行ってるんですよ
…先輩は、最近おにぎり、食べてますか？

学生時代は、菓子パンの方が、多かったですよ

コンビニのおにぎり…ですか

安くて、お手軽ですよ。あのパリパリした海苔が、けっこう好みだったり
…でも、手作りの方が、絶対に美味しくなると思いますよ
だって、心を…込めていますから
…どんな心か、気になりますか？

もちろん、美味しくなってほしいっていう気持ちと…あとは…
秘密、です。ふふ

でも、いつかきくと、分かると思いますよ…

…ん…しょ、ん…

外側はしっかり握って、中は硬くならないよう…柔らかく…と

美味しくなあれ、美味しくなあれ…ふふ

何だか、恥ずかしいですね

そのう…隠し味…ですけど。私の気持ち、伝わってくれたら、良いな…なんて
…あとは、握る面を変えて、形を整えるように、手の中で転がせば…

はい、これで完成です

あとは食べやすいように、海苔を巻いて…

あ、先輩のお腹、泣き虫さんですね

もうちょっとだけ、我慢ですよ。最後に、卵焼きを作ります

やっぱり、オカズがないと寂しいので…

お味は、お米と合うように塩と胡椒を使いますね

まずはフライパンを温めて…卵をお皿に…

もう一個…

ひゃっ、ご、ごめんなさい。失敗…しちゃいました

うう…良いところを見せようと思ったのに、ダメダメ…ですね

…卵、無駄にしちゃって…

先輩…そう言ってもらえると、助かります

ヘンに力を入れないで、いつも通りの自分で、良いんですよ

…すう、はぁ…よし、もう一回…

あ、今度は上手く割れました

殻は…入ってないですよ

これを掻き交ぜて…

そろそろ…あったまったかな

ええと…うん、ちょうど良い感じですね

では、油を引いてから卵を…

この音が良いんですよ

あとは…塩胡椒と、ハムを散らして…

ん、しょ…手前に引っくり返してから…残りの卵を…

ふう…あともう少しで、完成ですよ

さっきの手順を繰り返して、卵を巻くように折り返していけば、出来上がりです

あ…卵に、空気が入っちゃってますね

ちゃんと箸で潰して…ん、しょ…奥から、手前に…と

ふふ、卵がだんだん厚くなっていくのって、見てみるとワクワクしませんか？

最初は薄い卵が、箸で巻いていく毎に、どんどん厚さを増して…

きつと今、すっごくふわふわなんだろうなあって、思ったり

： お料理って、面白いですよ

食材が、色んな形に変わっちゃうんですよ。

とっても不思議で： でも、お料理の魅力は、やっぱり：

あ、もう完成ですね

卵が固まっちゃう前に、火を止めて：

食べやすいように切り分けていけば：

お待たせしました、完成です

さっそく、リビングの方に行きましょう

【美由紀】

向かい合わせに座って： はい、いただきます

食べるのは、先輩の方ですけどね

ふふ、どうぞ。： 別に、どちらから食べても良いんですよ？

： じゃあ、おにぎりから、どうぞ

ぱくっと、食べちゃってください

どう： ですか？

良かったあ。温かくて、優しい味： 伝わったみたいです

コンビニに負けちゃったら、どうしようって思っていました

： 先輩、卵焼きもどうぞ。程良い塩加減で、おにぎりに合うと思いますよ

どう、でしょう。お口に合いましたか？

卵がふわふわで、美味しいんですね。お口に合ったようで、嬉しいです

卵焼きって、甘いのが普通かなって思っていたので：

でも、塩胡椒で味付けした方が、ご飯に合って美味しいんですよ

ふふ： あ、いえ、すいません

先輩の食べてるお顔、可愛いなって：

もう、そんなに頬を膨らませて：

お料理は逃げないので、落ち着いて、ゆっくり食べましょう

： 私、ですか？ じゃあ、一口だけ：

と、思ったんですけど。そのう…先輩、あ、あーん…
か、固まらないでくださいよ。だから、あーん、です
はい、お口を開けて…ん

ふふ、こういうの、やってみたかったんです

…あー、いえ、本当に私は、良いんです

先輩が、美味しそうに食べているだけで、お腹いっぱいなので

…良く、分かりませんか？

その、さっき話した、お料理の魅力…なんですけど

それは、自分の作ったご飯を、美味しいって食べてくれる人がいることだと思えます
それだけで、私は満足なんです

…なんて、そんな話をしているうちに、全部食べ終わっちゃいましたね
先輩も…満足、できましたか？

ふふ、お粗末様です

…あの、先輩…

また、いつか…。私のお料理…美味しいって、言ってくれますか？

約束…ですよ

今度は、もっともっと、美味しく作れるように、頑張りますね

(■ ♪ 今は…うちにだけ、甘えてくださいね)

【美由紀】

先輩、次にしてほしいことって…

あ、これ…耳かき棒、ですよ

小さい頃、良くお母さんに…お耳のお掃除、してもらいました

耳かきって、一人でするよりも、誰かにしてもらった方が、気持ち良いんですよ

その…私でよければ、先輩のお耳、お掃除…しますよ

はい、もちろん体勢は膝枕…え、膝枕、ですか？

そ、そうでしたね。さっき、ご飯を食べた後にするって、約束…してました

では、先輩…また、私のお膝に、右のお耳を、くっ付けてください

【美由紀】

ん…先輩のお顔、近いですね…

なんて、当たり前…ですよ。あはは…

では、まずは左のお耳から、お掃除…していきますね

ん、しょ…

カリカリ…カリカリ

カリカリ…カリカリ

気持ち良いですか？ 最初は浅いところから、お掃除していきますよ

カリカリ…カリカリ、カリカリ…カリカリ

ん…浅いところも、けっこう…溜まっていますね

最近…お耳のお掃除、していなかったんですか？

そうですね…お仕事、お疲れ様です

耳かきって、一人でするの、大変ですし…気持ち、分かります

やっぱり、やってもらった方が…良いですね

その…先輩は、そういう方、いらっしゃるんですか？

そ、そうでしたか…じゃあ、あの…私は、どうでしょうか

今回、気持ち良くできたら、また…次も、先輩のお耳、お掃除…しますよ

もちろん、膝枕付きで…ふふ

今度は、奥の方を…していきますね

…ん、しょ…

奥から手前へ…かきかき、かきかき…
かきかき…かきかき

あ、今…耳垢が動きましたよ
んう…優しく、掻き出すように…かきかき、かきかき…
かきかき…かきかき

先輩…落ち着いて、きましたか？
今は…後輩に、甘えてくださいね

膝枕で、先輩を支えて…お耳の隅々まで、お掃除…しますよ

かきかき…かきかき、かきかき…かきかき
こうして…私は、先輩の側にいますからね
安心して…身も心も、私に預けてくれると…嬉しいです

奥から手前へ、かきかき…かきかき
ん、しょ…ん…はあ、…ん、んう…

はい、左のお耳は、これで綺麗になりましたよ
ただ…仕上げに

—ふうふう…

くすっ、これで本当に、お終いです

次は反対側なので…左耳をくっ付けて、

私のお腹を見るように、ごろんって、体勢を変えましょうね

【美由紀】

はい、よくできました…ふふ

ごめんなさい、つい…からかってみたくなって…

昔の距離感を、思い出してきたせい…ですかね

先輩の温もりで…私の方まで、リラックスしちゃいました

不思議…ですね

先輩と一緒にいると、本当に、自然と言葉が出て来るんです
私、口下手なのに…こんな気持ちになるの、先輩だけ…かも
あ、手が止まっていましたね。右耳も、いっぱいお世話しますね
ん、んう…

カリカリ…カリカリ

カリカリ…カリカリ

ん、しょ…んう…はあ…

…雨、まだ、降っていますね

…実は私、こんな日じゃなかったら、雨って、けっこう好きなんですよね
地面や、葉っぱが濡れた匂いと…静かな雨音が、読書にぴったりで…

そういえば、先輩…図書室、良く行っていないませんでしたか？

…ふふ、そうですね

特に、雨の日にする読書っておすすめですよ

雨音が、余計な考えとか…雑念、って言うんですね

そういうのを掻き消して…本の世界に、連れて行ってくれるんです

あとは…今している耳かきも、相性良いんですよ

耳かきの匙で、カリカリ、カリカリ…と、優しくお掃除する音と

雨粒が地面に吸い込まれて、弾ける音…どちらも単調なリズムで繰り返されて…

眠気が、やってくるんですよ

心も落ち着いてきて…いつの間にか、リッラクス…しているんです

カリカリ…カリカリ、カリカリ…カリカリ…

今度は、奥の方も…お掃除しますね

ん、しょ…

かきかき…かきかき

…ん、はあ……ん、んう……

雨の音…耳に、馴染んできましたね

ぼつり、ぼつり…かきかき、かきかき…

…先輩、もし眠たかったら、寝てしまっても、良いんですよ

我慢するのは、身体に悪いので。私に身を任せて、眠りの中へ…

深く、深く、沈んでいきましょ

ん、しょ……ん、はあ…

…ふうううう……

お目覚めですか？ 右のお耳も…綺麗に、なりましたよ

先輩…すっかりしたお顔をしていますね

だいぶ、疲れは取れましたか？

リラックスは…できたみたいですね

あとはお身体の問題なら…最後に、マッサージはいかがですか？

こう見えて私、陸上部じゃないですか

その関係で、マッサージができるんです

いつか、先輩にしてあげたいなって思ってた…どう、でしょうか？

ほんとですか？ ありがとうございますっ

では、名残惜しいですけど…お布団の方に、行きましょう

先輩の、お疲れ気味のお身体…私に、任せてくださいね

(■ ♪ 先輩のお役に立てて、嬉しいです)

【美由紀】

先輩、お布団に座っていただいたところで、まずはどの辺りが疲れているのか訊きたいんですけど…

なるほど…肩と、脚の方…ですか。

分かりました、では肩からマッサージをしていきますね

後ろから…失礼します

…両手で、もみもみ…もみもみ…

力加減は、このくらいで大丈夫ですか？

ちょうど良いみたいです、ではこのくらいの力で…

もみもみ、もみもみ…

ん、ふう…先輩って、肩幅があって、がっしり…していますよね

こんなふうに、後ろ姿を、じっと見たことがなかったので…少し、びっくりしています
先輩、優しいので…お身体の方も、線の細いイメージがあって…

でも、こうして触れてみると、全然…違うんですね

しっかり筋肉があって、男の人っていう感じが…あ、私ったら、勝手に一人で…すみません

つい…意識、しすぎちゃいました…うう

も、もちろんマッサージの方も、ちゃんとしていますよ

ん、しょ、んう…もみもみ、もみもみ…

…ん、けっこう…凝っていますね

先輩のお仕事って…デスクワーク、でしょうか？

あ、立ち仕事…だったんですね

ただ、立ちっぱなしというのも、お身体に負担が掛かるんですね

無意識のうちに、筋肉を使っているの…ほら、こんなに凝っています

肩は自分で揉むこともできますけど、届かないところもありますし、

手が疲れちゃいますよね

だから、誰かにマッサージしてもらった方が、効果的なんですよ

ん、しょ…もみもみ、もみもみ…

硬くなった筋肉をほぐすと、溜まっていた疲れが、じんわり抜けていくような感じ、しますか

実は、筋肉をほぐしながら、肩のツボも押しているんですよ

ちょうど、肩の真ん中位にある、肩井（けんせい）というツボを、指の腹で、ぐりぐり…

どうですか？ 肩にはたくさんツボがあるんですけど、特にここは、肩こりだけでなく、首の疲れにも効くんです

もうちょっと、刺激していきますね

ん…ぐりぐり、ぐりぐり…

ん、はあ…ん、しょ…ふう…

だんだん、肩から首に掛けて、ぼかぼかしてきますよ

強張った筋肉が緩んで、身体の奥から、じんわり、温かくなっていくようなイメージです
ん、しょ…もみもみ、もみもみ…

どう…でしょうか。肩のところ、温かく、なってきましたか？

ふふ、マッサージの効果、あったみたいですね

筋肉がほぐれて…特に、肩井の下には、太い血管が走っているので、血の巡りが良くなったんだと思います

…ん、しょ…ん、しょ…

ふう…あとは、仕上げに肩を軽く叩いていきますね

とんとん、とんとん…

ふふ…何だか、楽しくなってきましたね

とんとん、とんとん…

ふう…

あんまりやりすぎると、筋肉が硬くなってしまうので、

肩叩きはこのくらいにしておいて…

次は、一番疲れが溜まっている、脚のマッサージをしていきますね
先輩、お布団の上に、うつ伏せになってください

【美由紀】

はい、ありがとうございます

最初は太ももの方から…ん、しょ…んう…

ほんとだ…脚の筋肉、硬くなっていますね…

んう…しょ、んう…

やっぱり、女の子の脚とは違って、逞しいです…

これは、マッサージのし甲斐が、ありますね…ん、しょ…んう…

ふう…先輩、頑張りすぎるのは、あんまり良くないですよ

時には休んで、自分のお身体を、大事に…してあげてください

…それでも、疲れた時は…私が、マッサージしますので

私のこと…もっと頼って、くださいね、えへへ

次は、膝の裏から、ふくらはぎに掛けてをマッサージするんですけど…
筋肉を緩めるために、少し膝を曲げた状態で、揉んでいきますね
ん…

もみもみ…もみもみ…

少し圧を掛けて、脚の筋肉をゆっくり押し込んだ後、指を離して…

ん、しょ…これを、繰り返していきますね

ん…しょ、んう…もみもみ、もみもみ

もみもみ…もみもみ

脚の疲れ、少しずつ…和らいでいきますか？

ふふ、先輩のお役に立てて、嬉しいです

脚も方も、肩と同じように、じんわり温かさが広がっていきますよ

…え？ 私の温もりは、その…関係ないですよお

先輩のお身体が、温かく…なっているんです

ん…はあ、ん、しょ…ん、しょ…

…ん、…ふう…ん、…んう…

ふう…これで、マッサージはお終いです

お身体を起こしても、大丈夫ですよ

【美由紀】

…え、身体、くっ付いていましたか？

…恥ずかしい…。私の方まで、熱く…なってます

うう…今度は、何ですか…？ 浴衣？

ひやつ、お見苦しいところを…すみません

マッサージに夢中になっていたせいで、いつの間にか、着付けが乱れていたみたいで…
すぐ、直しますね…

あ、あの…先輩？ できれば、向こうを向いてくださると…

ありがとうございます…

ん、んう…

もう、大丈夫…ですよ

…え、ええと…あの、その…お、お身体の方は、疲れ…抜けましたか？
脚のところとか…少しむくんでいたんですけど…

そうですか、すっきりしたんですね。良かったあ……ふふん、ふわあ……安心したせいか、少し……あくびが……

って、先輩も、ですか。そのまま、少し横になっでは、どうでしょう

ほら、また……雨の音が聞こえてきましたよ

きつと……気持ち良く、眠れると思います

目を閉じると……だんだん、眠気が……

（ ■の先輩…眠れませんか ）

【美由紀】

…先輩？ どこに、行くんですか…？

そんな…ソファで寝たら、また、疲れが溜まっちゃいますよ

ここで…お布団で、寝てください

私のことは、気にしないで良いので…

もう…先輩は、優しすぎますよ

私のことばかり、気遣ってくれて…あの時だって、そうです

雨の中、私のこと、おんぶしてくれて…あの後、風邪、引いちゃったんですよ

…ほんと、先輩、全然変わってませんよ…

私の中にある、思い出のまま…です…

先輩…どうしても、ソファで寝るつもりですか

そうですか…じゃあ、私と一緒に…お布団で、横になりませんか？

…だ、だって…仕方ないじゃ、ないですか…

先輩は、引く気ないですし…私だって、譲れないので…

一緒に寝ちゃえば、解決…しますよね

その…嫌じゃ、ないですよ。そんなの…当たり前じゃないですか

だから…先輩、お布団…入りましょう

んんう…

【美由紀】

先…輩？ 眠れませんか？

ですよ…先輩でも、緊張…しちゃいますよね

私も…同じですよ

いつもみたいに、胸が、ドキドキして…でも、身体は…震えてないんです

先輩と…いっぱいお話して、マッサージ…ですけど…触れ合ったりもして…

会えなかった時間を埋めるように、先輩の側で…一番近くで、過ごせて…

お祭りよりも、先輩とのこの時間は、掛け替えのない、大切なものだって気づけたんです

だから、このドキドキは…不安とかではなくて…そうじゃなくて…

…まだ、言葉は見つかりませんけど…

今、とっても安心してるんです。緊張しているのに、安心だなんて…不思議、ですよ。ね。おかしいうって、思いますよね

でも、全部…本当なんです

…先輩のドキドキは、私と…同じもの、でしょうか
そうだったら良いなって、思っちゃいます…

…先輩？ 眠れないのなら、目を閉じて…ゆっくり、深呼吸してください
先輩が寝付けるように…優しく、頭を撫でますね

あとは…羊を数えるのも、定番ですけど…効果、あるかもしれません

ん…先輩

よしよし…よしよし

だんだん…眠くなっていますよ

意識は、鈴虫の鳴き声の子守歌に…雨音の中に紛れて…

一緒に…なって…

私の声も、融け込んでいきます…

羊が、一匹…

羊が…二匹

羊が…三匹

羊が…四匹

羊が…五匹

羊が…六匹

羊が…七匹

羊が…八匹

羊が…九匹

羊が…十匹…

ん…すう…すう…すう…んう…すう…すう…

…い。せ…ぱい

眠っちゃいましたか…？ くすっ…寝顔、可愛い…

あの…ですね

こんな時にしか、話せないんですけど…

先輩が寝ているのに、話しても…意味なんて、ないのかもしれませんが…
それでも、話しておきたいことが、言葉にしなくちゃいけないことが、あるんです…

実は、ですね……。先輩と、初めて出会った時のお話……

初めて会った、というのならあの時ですけど……

私は、もうちょっと前から、先輩のことを知っていたんですよ

…高校に入って、でも、あんまり友達が出来なくて……。

私はよく、図書室で本を借りていたんです

そんな時、借りたいて思っていた本が、先に貸し出されていて……

そんなことは、ありがちだと、思いますけど。それが、何度か続いたことがあったんです
運が悪いなあって思って……ふと、借りている人の名前を見たら……全部、同じ人で

それから私、ずっと……その人のことが、気になっていたんです

私と、同じ本を好きになる人がいるんだなあって、どんな人なのかなあって……

ずっと、ずっと……その人のことを、考えていたんです

その人が借りた本を、後になって、私も借りてみたりして……

そしたら、とっても面白い本で……

お話……してみたいなあって、思ったこともあります

けど……その人は、男の子で……年上……だったので……声なんて、全然掛けなくて……

その人と私は、学校の図書室にある本でしか、繋がって、なかったんです

そう思っているのは、私だけ、なんですけどね……

きつと、すれ違うこともなく……卒業するんだなって

その人が借りた、本のページを手繰りながら……そう思っていました

けど……帰り道で、私が足をくじいて……歩けなくなっ

そんな時、でした。初めて、その人と……先輩と、出会ったのは

……やっと……私の中にある、本のページが捲れるような……そんな気が、しました

先輩……私と先輩は、今……何ページ目に、いるんでしょうか

まだ、全然進んでいないのかな……それとも……

なんて、こんなお話……面と向かつては、できないので……

……ごめんなさい、先輩。こんなこと言たって……全部、独り言なのに
消えて、なくなっちゃうのに……

私……やっぱり、先輩が起きたら……ちゃんと、告白……しようと思います

自分の、気持ち……先輩のことが……好き………っていう、気持ち

……え？ あれ？
起き……てるって……あ、えっ
い、いつ、から……？

さ、最初、から……あ、あの……それじゃあ、今の話も、全部……っ
う、あ、ううう……

せ、先輩……。こっち、向いてくれますか……？

【美由紀】

……近い、ですね
この距離なら……私の言葉、絶対……届きますよね

大好きです、先輩
たぶん……ずっと前から、出会う前から、好きで……
今は、先輩のことが大好きです

……先輩も、ですか……？
本当に……私の、こと……

……うう、ぐすっ
ご、ごめんなさい。私、泣くつもりじゃ……でも、う、嬉しくて、う、うう……
先輩……せんばあい……っ

好き、私も、大好きです……っ
うう……うう……
あ……この音って、花火……？
雨、いつの間にか、止んでいたんですね……ぐすっ

……先輩、ベランダに、行きませんか？ もしかしたら、見えるかも……しれません

【美由紀】

少し……肌寒いですね
……花火、見えると良いんですけど……あ……
わあ……綺麗、です……
大きな花びらが、夜空に咲いているようで……

……先輩
ん……ちゅっ

【美由紀】

先輩のほっぺ……柔らかいですね

ふふ、花火に見惚れているから、ですよ

花火の方……見なくて良いんですか？

なら、今度は……

ん……ちゅう……はぁ……

先輩の唇に、ファーストキス、しちゃいました

ふふ……もう一回……ちゅっ……もう、一回……ん、ちゅっ、ちゅう……ふふ……

キス……先輩からも、ですか？　じゃあ……この続きは、お部屋に戻ってから、しましょう

……夜風が冷たいので……その……

私の身体……温めてくれると、嬉しいです……

（ ■ ♪ エピローグ ）

【美由紀】

お祭り…終わっちゃいましたね

結局買えたのは、綿菓子一つだけ…でも、私…とっても幸せなんです

…えへへ、本当、ですよ

夜の縁日に、先輩と手を繋いで歩いて…付き合ったその日に、デート…出来ちゃいました
周りの人も…ほら、いつの間にか…少なくなっ

夏祭りを一人占め…いえ、先輩と、二人占め…しているみたいです

確かに…お祭りの、賑やかな空気は残っていませんけど、こういう雰囲気って…
私たちに、合っていると思いませんか？

雨上がりの匂いに…火花が咲いた後の、静かな夜空…

私…とっても、好きです

…それに、お祭りなら、また行けますよ

今度は、最初から手を繋ぎながら…色んな屋台を回るんです

だから今日は、この綿菓子だけで、縁日のデート…楽しませようね？

はい、先輩…あーん

甘い味…しますか？

当たり前…？ さあ、それは先輩にしか、分かりませんよ

まだ私、食べていませんから…確かめさせて、くださいね…

ん…ちゅっ

…ほんとだ。甘い味、しますね

ふふ、先輩。お顔、真っ赤ですよ

…はい、あーん…

綿菓子、美味しいですよ

優しい甘さが、お口の中に…広がって…

私とのキス…思い出しちゃいますか？

ふふ、照れてる先輩、可愛いです

……これから、もっと先輩が恥ずかしがったり、微笑んだり…

ちよっとしたこと、ですけど…色んな、忘れられない思い出、作りましようね

私と先輩の、二人で…